

八女市予約型乗合タクシー

「ふる里タクシー」



福岡県八女市

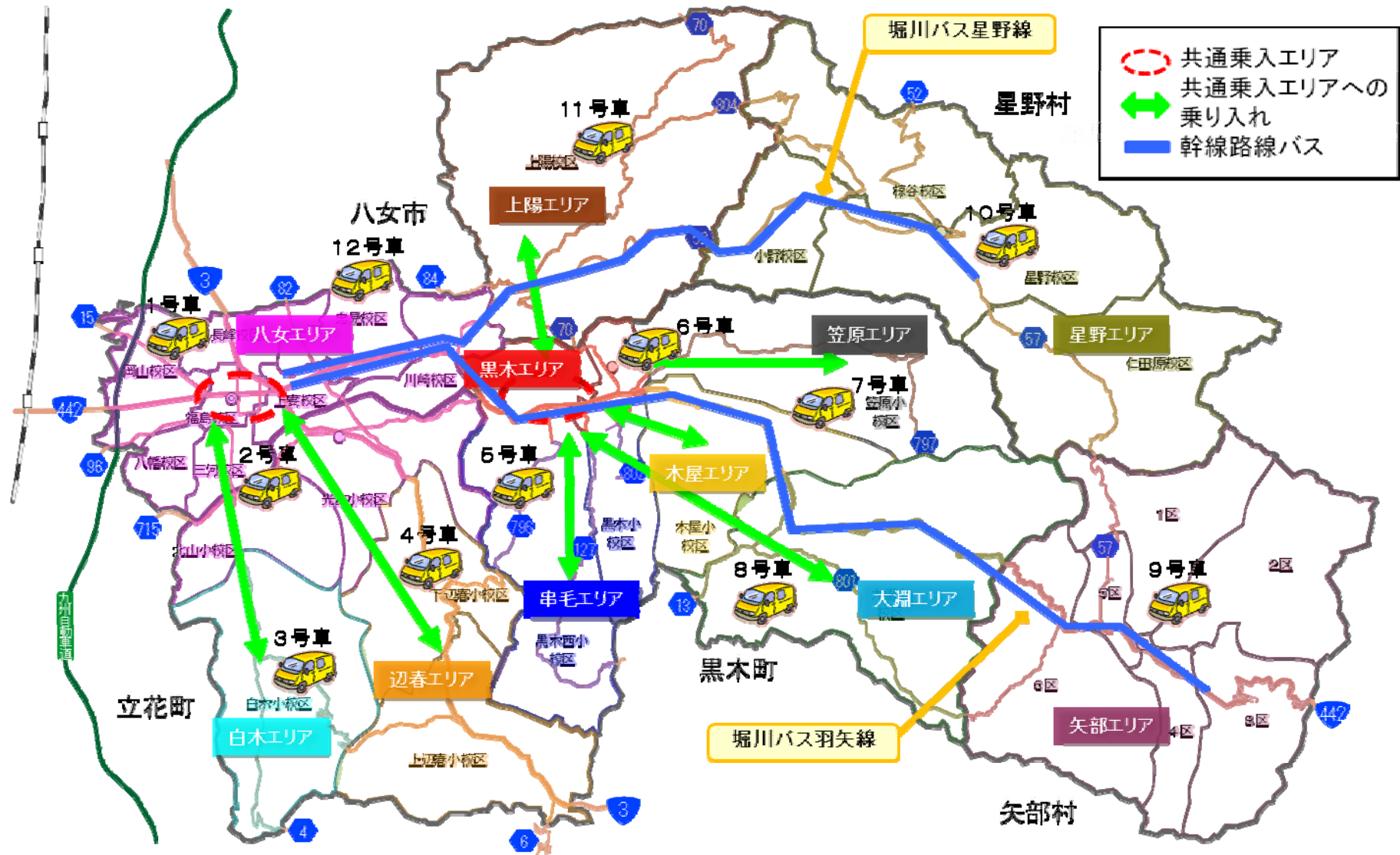
八女市の概要

- 位置 福岡県南東部(熊本、大分との3県境)
- 合併 H18に1町、H22に2町2村を編入合併
- 面積 428.53km²(福岡県で2番目の面積)
- 地形 矢部川中流～源流の山間地域
- 産業 農業(茶、菊)伝統工芸(仏壇、提灯)
- 人口 69,057人(H22年国調)
- 高齢 高齢化率30.3%(H25年3月住基)
- 交通 民間路線バス8路線(鉄道はない)

乗合タクシーの概要

- 運行開始 H22年1月(一部) 全域は同年12月
- エリア数 11エリア(旧市町村をベースに)
- 運行台数 12台(金曜のみ13台)10人乗ワゴン
- 運行日 平日のみ(土日、年末年始運休)
- 運行便数 8便(午前8,9,10,11時 午後1,2,3,4時)
- 予約受付 7時30分~16時30分 6人体制
- 登録者数 11,570人(人口の16.9%) H25.3末
- 利用者数 年64,322人(262人/日) H24年度
- 利用料金 1回の乗車につき300円
(一部区間については400円)

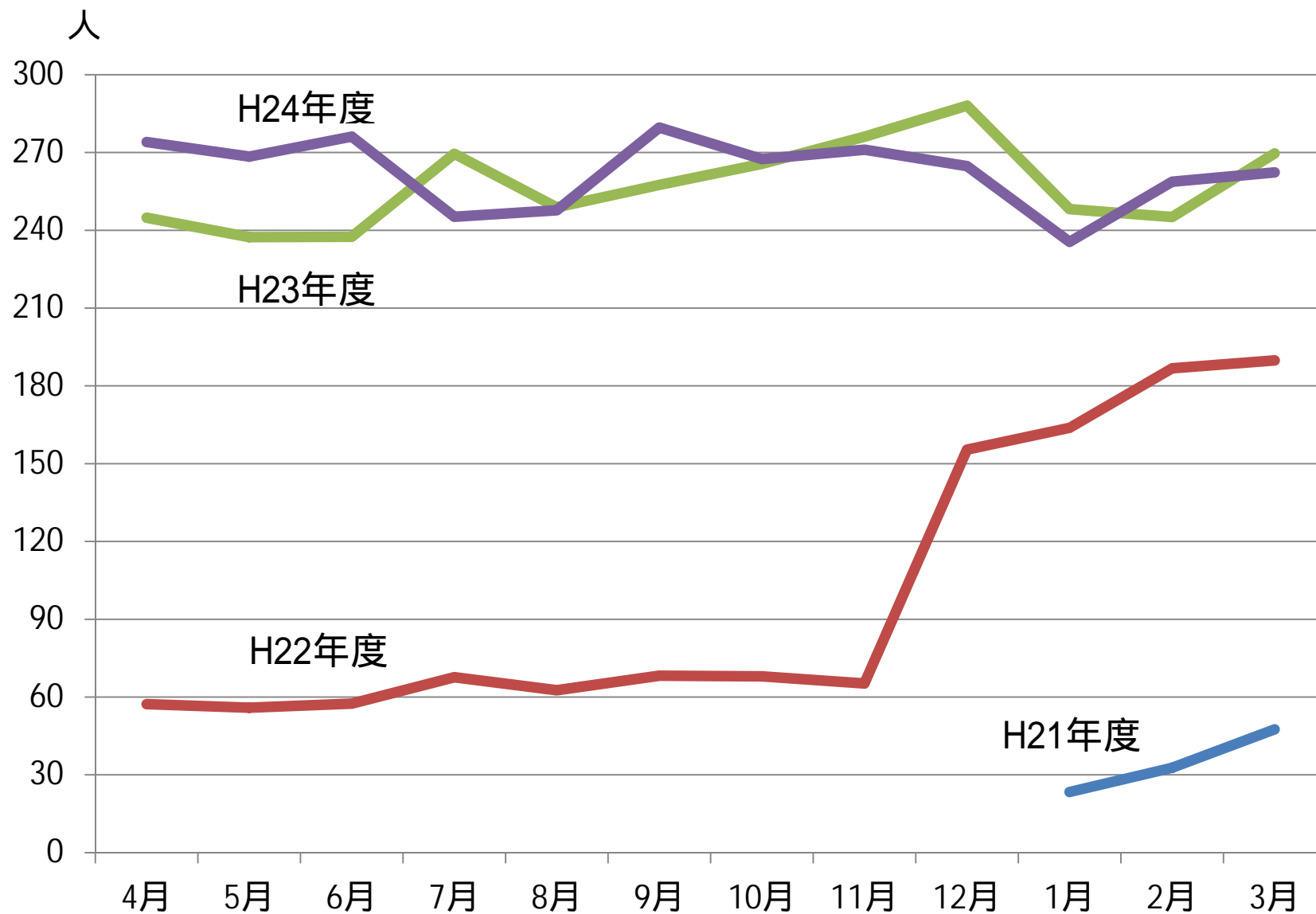
運行エリア図



運行実施のポイント

- 路線バスとの調整
幹線系統の確保 旧市町村間の移動は路線バス
運行重複を回避 フィーダー系統は朝夕に特化
- 交通政策の統一
合併前の市町村が実施していた、コミュニティバス等
(福祉バス、予約バス、患者輸送車)を全廃
- 旧市町村の交通対策費の予算枠内で実施
路線バス見直しやコミバス全廃で捻出した予算で導入
- エリアを設定し移動範囲を制限
コアな生活圏維持、バスとの調整、1時間1便確保
旧市町村をベースに設定
1時間1便確保のため、更に細分化したエリアも

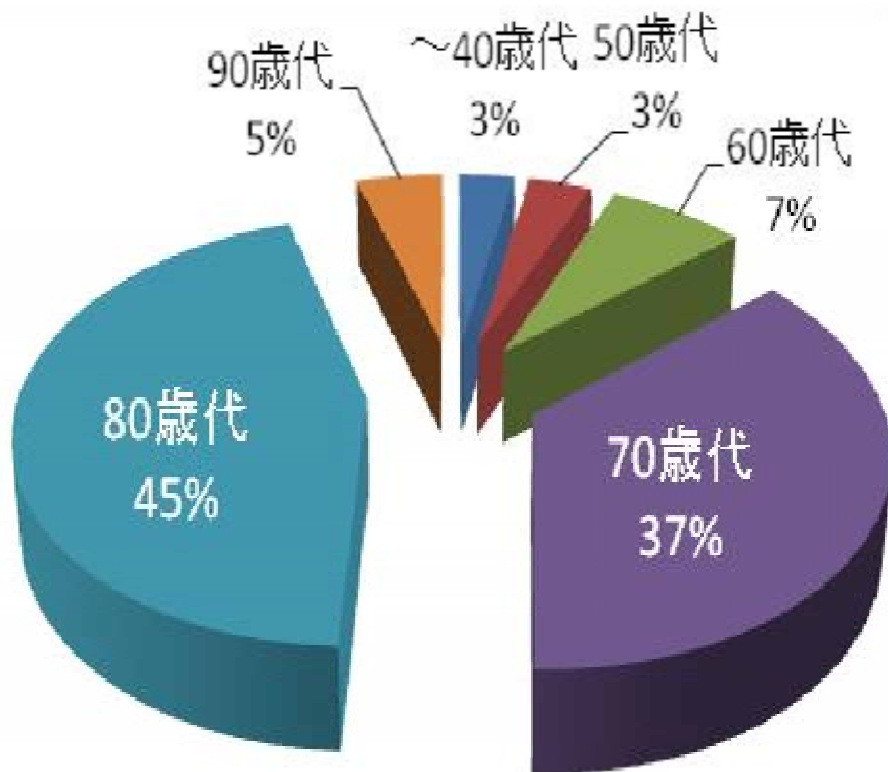
1日平均利用者数の推移



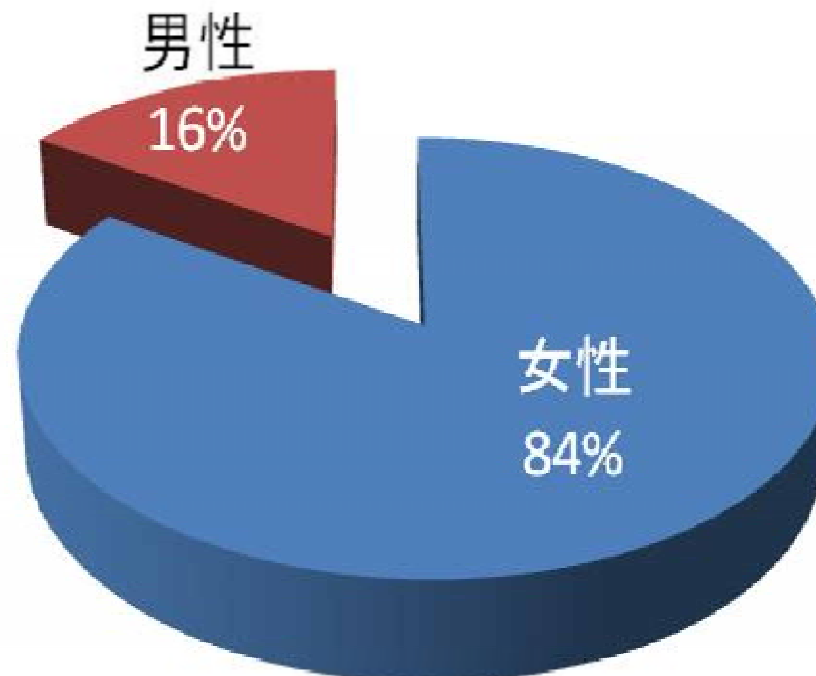
利用者層

●年齢

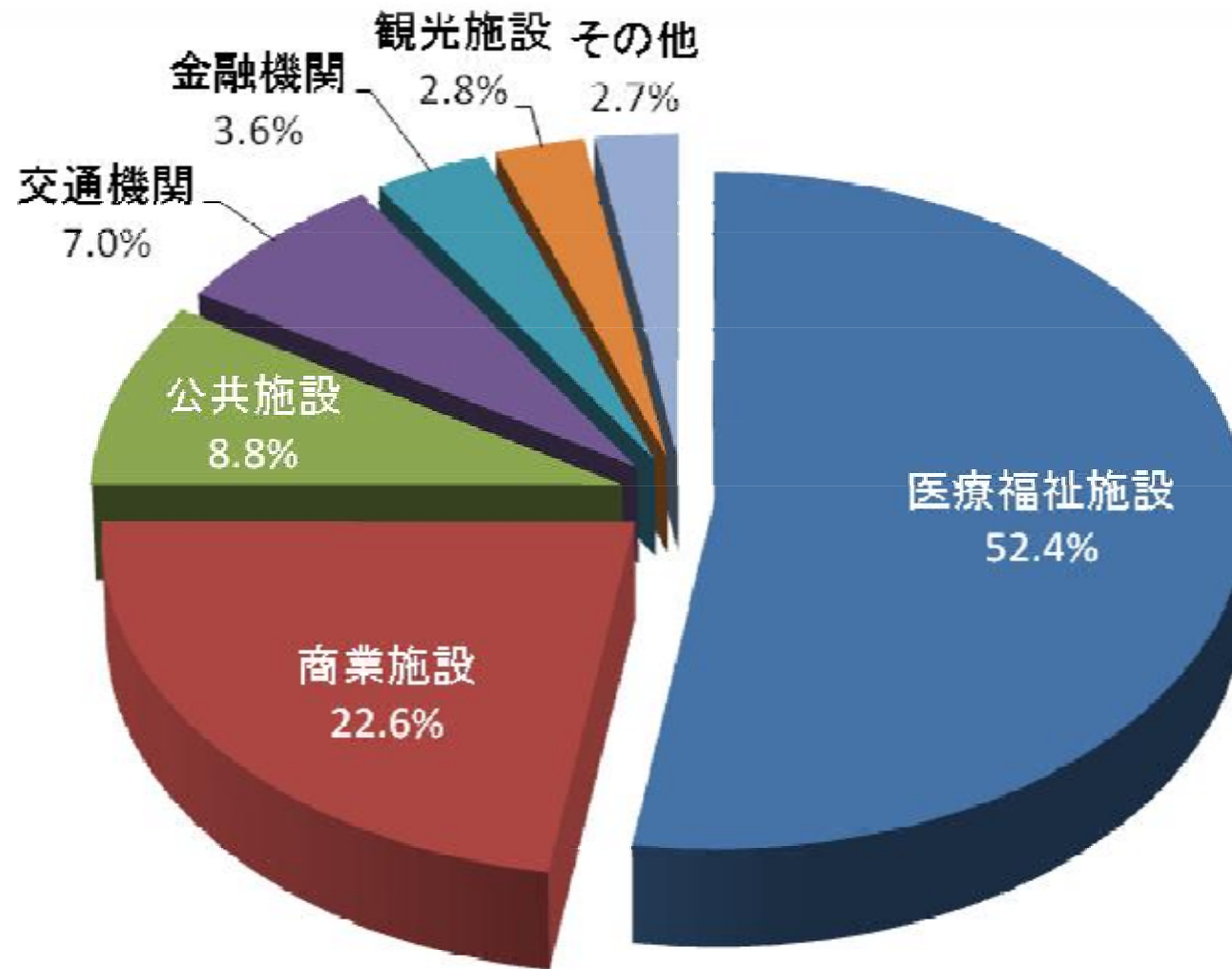
87%が70歳以上



●性別

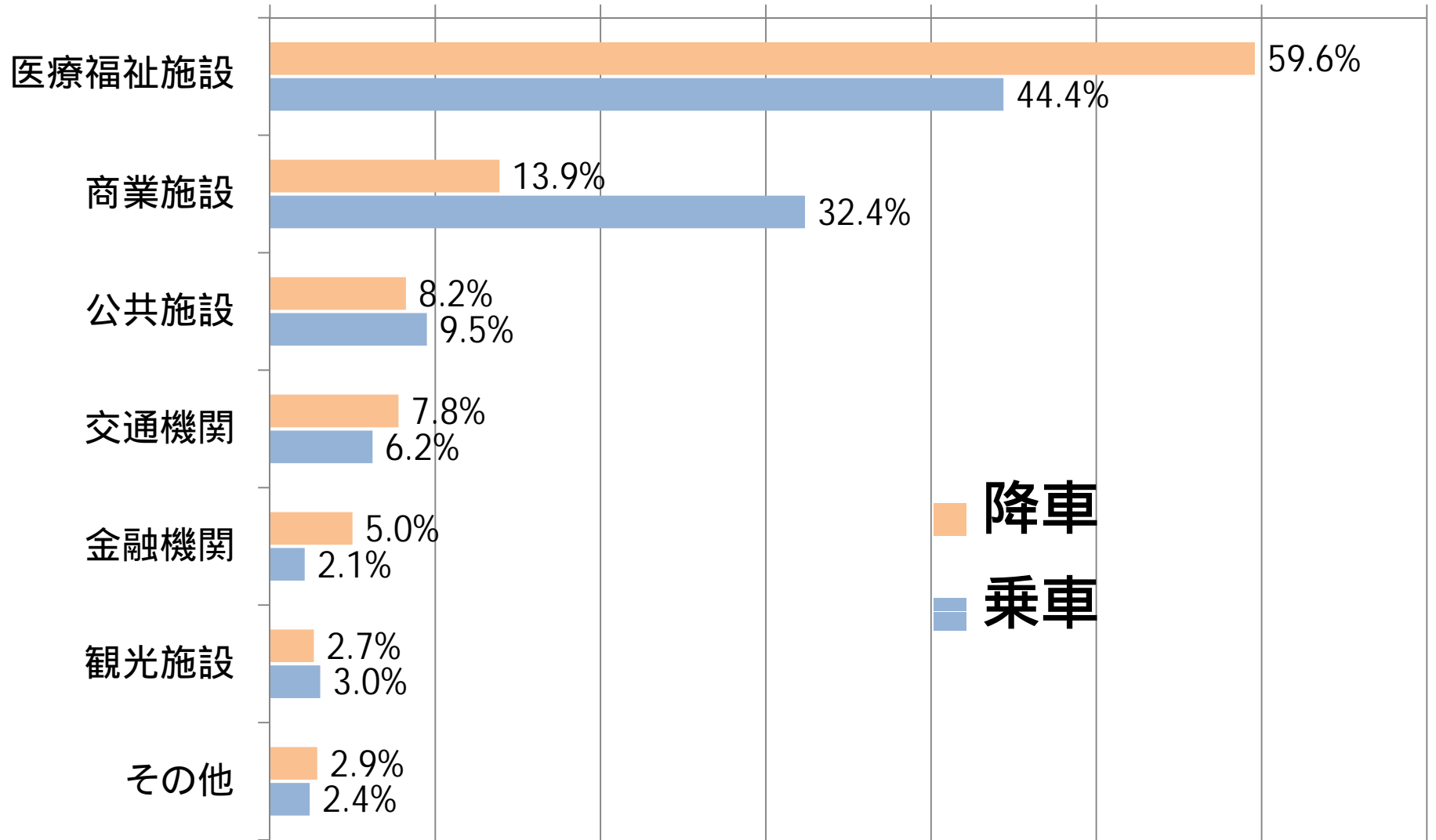


乗降場所



乗る場所、降りる場所で見ていると

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0%



アンケートで「市民の支持」を確信

利用者向けアンケート 利用経験者400人へ郵送 285人回答（回収率71%）

- 問1 予約受付時間 78%の方が「納得」
- 問2 運転日 51%の方が「困っていない」、38%の方が「困っている」
- 問3 便数 75%の方が「ちょうど良い」
- 問4 始発時間 85%の方が「ちょうど良い」
- 問5 昼休み 73%の方が「正午のままでいい」
- 問6 最終便の時間 52%の方が「ちょうどよい」、39%の方が「早すぎる」
- 問7 利用料金 89%の方が「納得」
- 問8 移動できる範囲 77%の方が「困っていない」
- 問9 目的地までの時間 83%の方が「困っていない」
- 問10 バスとの乗り継ぎ 64%の方が「支障がない」
- 問11 車両の乗り降り 93%の方が「満足」
- 問12 運転手の対応 91%の方が「満足」
- 問13 予約センターの対応 89%の方が「満足」
- 問14 外出機会の変化 38%の方が「増えた」
- 問15 暮らしの便利さ 80%の方が「便利になった」
- 問16 乗合タクシーの必要性 94%の方が「必要」

未利用者向けアンケート 未利用者100人へ郵送 57人回答（回収率57%）

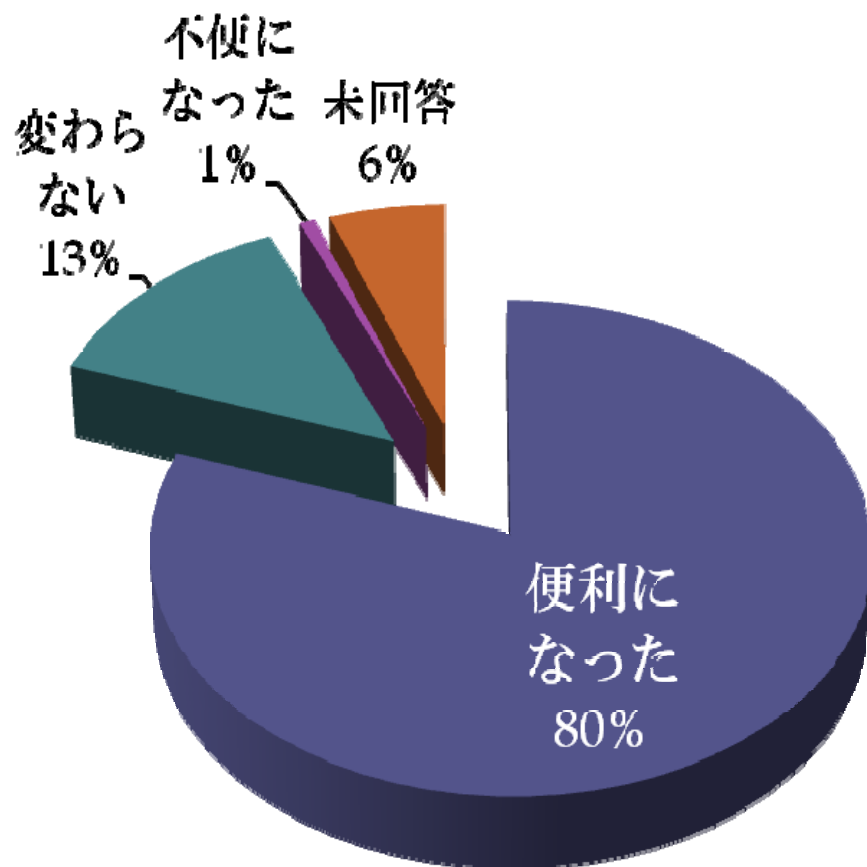
- 問1 利用していない理由 58%の方が「自分で運転」、39%の方が「家族が送迎」
- 問2 今後の利用予定 72%の方が「今後利用する」
- 問3 乗合タクシーの必要性 87%の方が「必要」

（アンケート実施時期 H23年8月）

「暮らしが便利に」 8割が実感

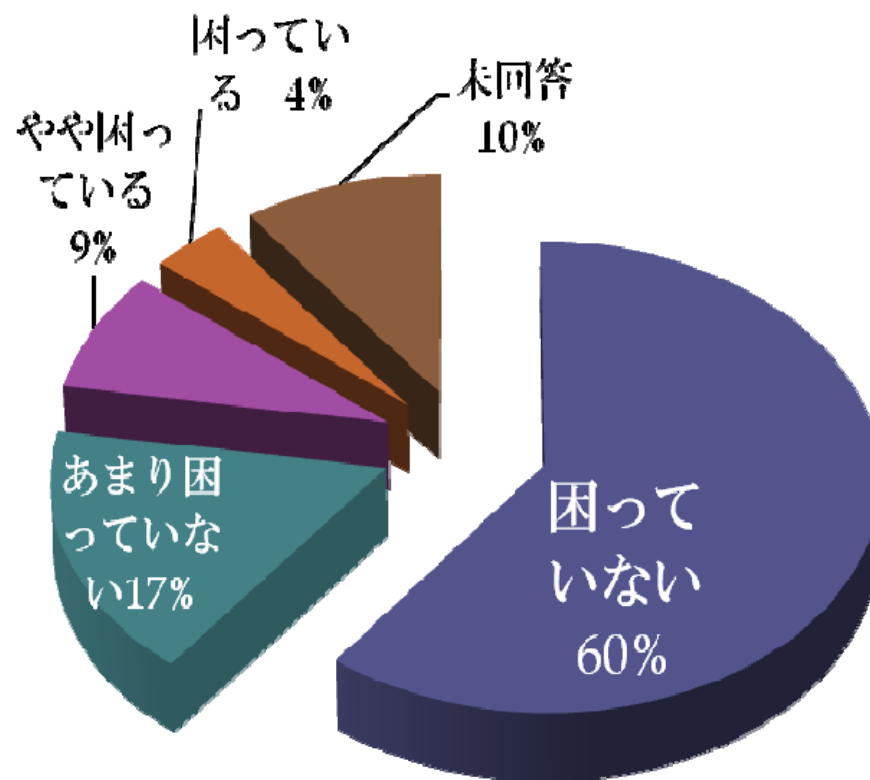
《問15》 乗合タクシーの便利さについてお尋ねします。

乗合タクシーが出来て、毎日の暮らしが、便利になったとお感じですか。



《問8》 移動できる範囲についてお尋ねします。

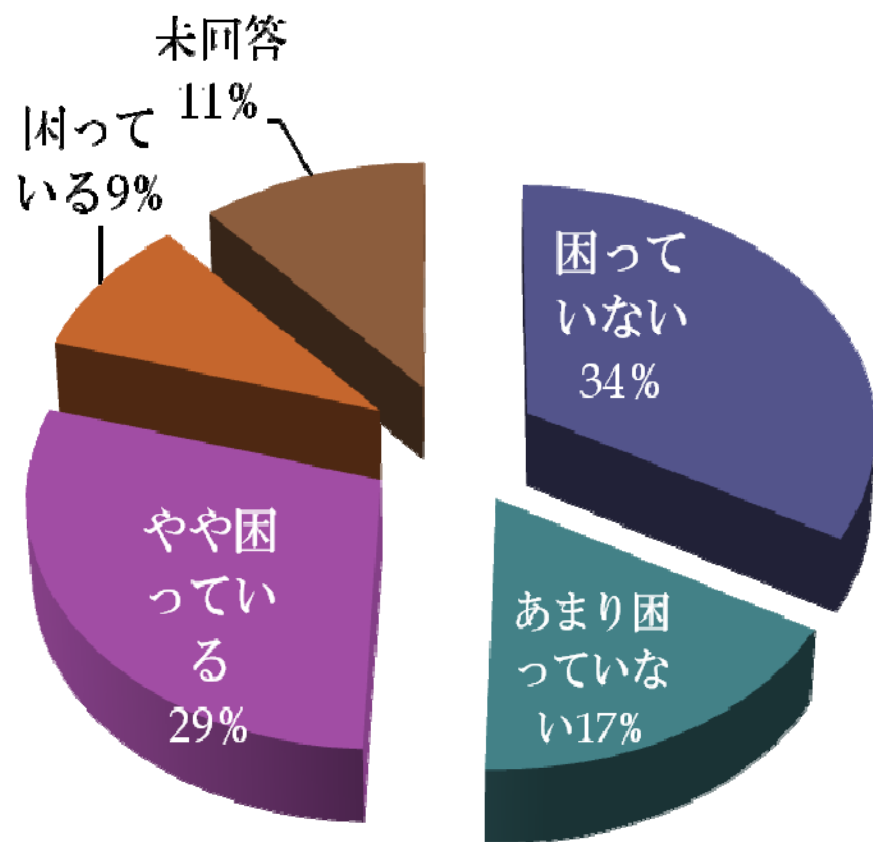
原則として、同じエリア内での利用とさせていただきますが、日常生活にお困りはありませんか。



運行日や最終便の時間に不満も

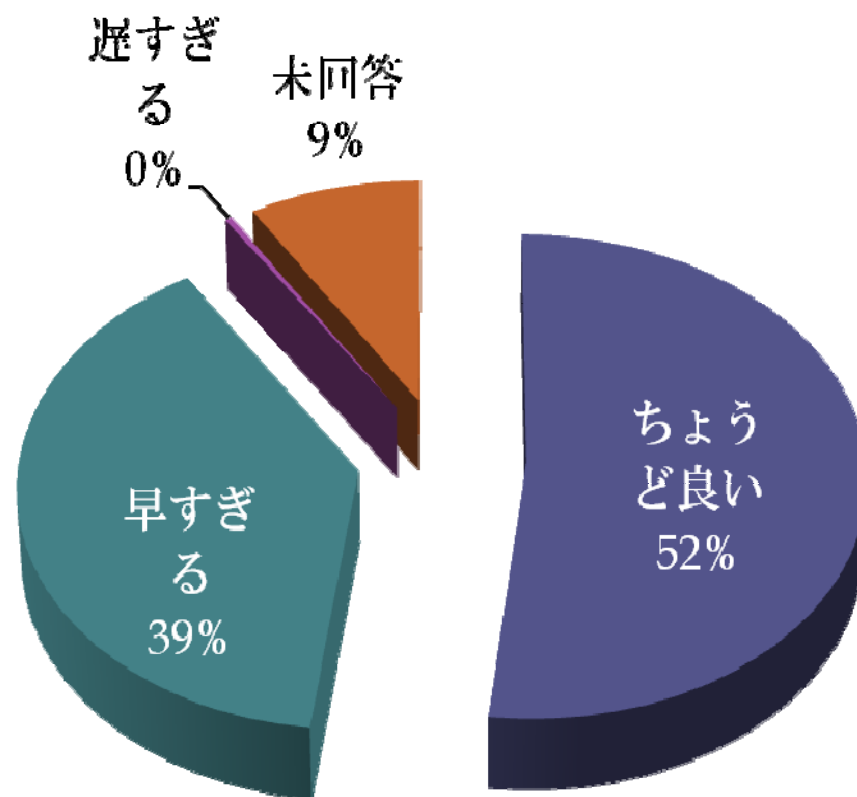
《問2》 運行日についてお尋ねします。

現在、平日のみ運行し、土日、祝日、年末年始は運休していますが、日常生活にお困りはありませんか。

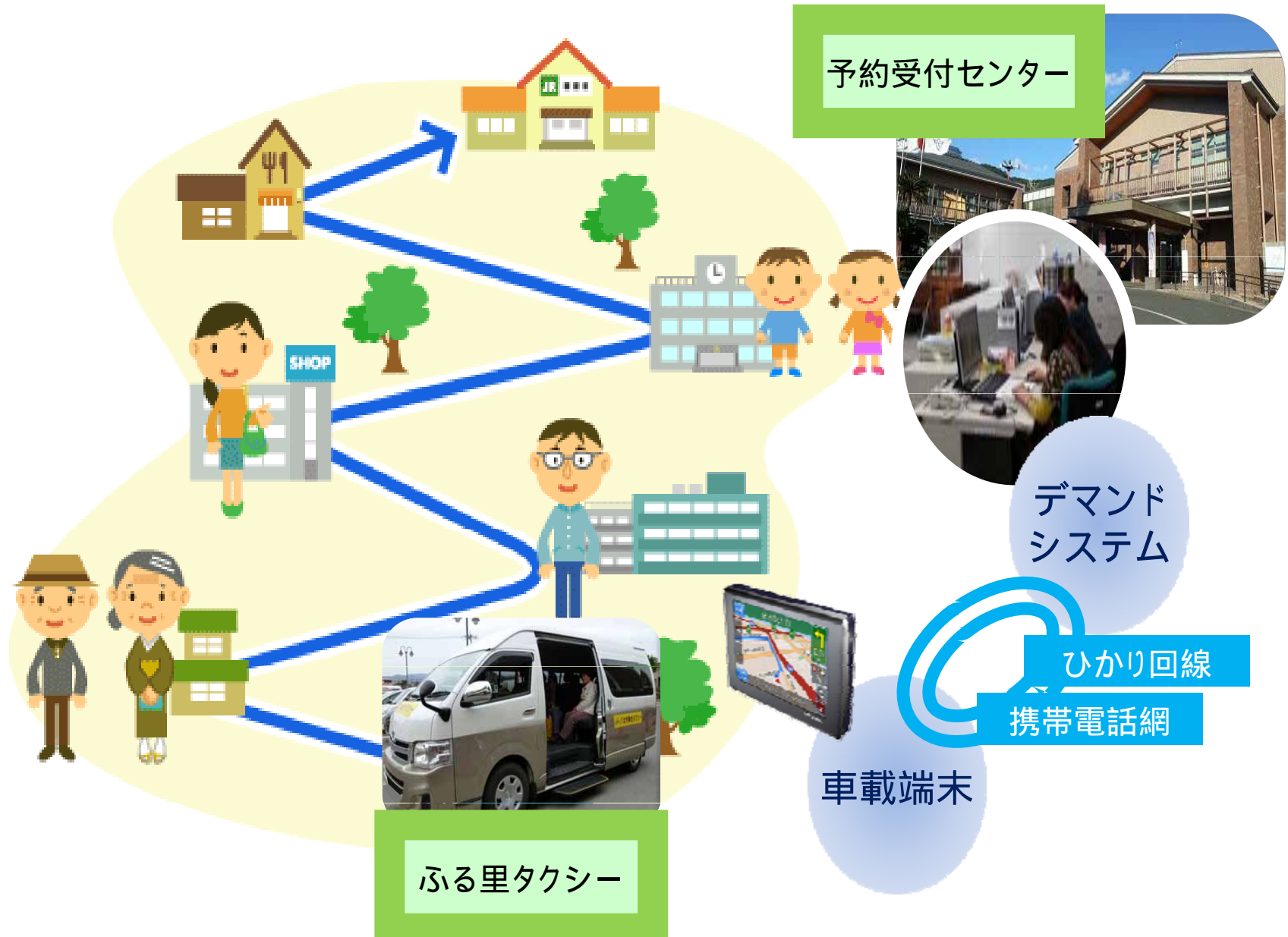


《問6》 最終便の時間についてお尋ねします。

現在、夕方4時が最終便となっています。



デマンド交通を支えるICT技術



当面する課題の解決に向けて

当面する課題

- ・ 運行経費の抑制
- ・ 安全運行の確保
- ・ 乗合タクシーとその他の公共交通との共存

解決への糸口

- ・ 新システム導入
 - オペレータの負担軽減で人件費削減
 - 時間が見える配車システムで無理な配車を予防
- ・ エリアごとの運行ルール(市街地と山間部)
- ・ 地域公共交通協議会での幅広い意見交換

新たな利活用の模索

- 観光デマンド

 - 八女市の観光イベント時に市内循環運行

 - H23年度事業で実証運行

 - H24年度～観光費で予算化して継続

- 商工会による地域活性化への活用

 - H24～26年度事業 計画策定と実証

 - 買物ポイントによるタクシーチケット

 - 車内広告 宅配サービス 安否確認

 - 待合所設置(空き店舗活用)など

九州北部豪雨の災害後も、 休まず運行しました。

▶運行時刻表

車種	全行開始時刻
全時運行	前日18時30分
9時運行	9時30分
10時運行	10時30分
12時運行	12時
13時運行	13時
14時運行	14時
15時運行	15時

※平日、夜日および年末、年始（12/29～1/3日）は運休となります。

「ふる里タクシー」の案内

予約があったとき、予約あった区間だけ運行して、残りの区間は運行しないというシステムです。利用者の負担を減らすために運行しているのです。

「ふる里タクシー」は、九州北部豪雨の被災地を中心に運行しています。被災地の復興支援や、被災者の生活支援に貢献しています。

「ふる里タクシー」は、九州北部豪雨の被災地を中心に運行しています。被災地の復興支援や、被災者の生活支援に貢献しています。

八女市予約型乗合タクシー「ふる里タクシー」

災害後も休むことなく運行！

愛されて10万人突破！



九州北部豪雨災害後も「ふる里タクシー」は休むことなく運行しました。

一人暮らしで、妻が病中、病院や買い物によく利用しています。被災後も運行が止まらず、生活が楽になりました。このおかげで、ふる里タクシーがなかったら生活ができませんでした。本当に感謝しています。

機アサ子さん (古賀市)

八女市の病院への通院に、バスまで車といっしょによく利用しています。電話予約は、予約センターの対応が確実なので、いつも私が担当しています。今回の集中豪雨で足立状態になったときは、息子の運転で八女の病院まで2〜3時間かかって、やっとの思いで行きました。しかし、仕事のある息子にはそう頻りに頼むのはいくらも困ったところ。ふる里タクシーの運転手さんから「運行している」といううれしい連絡があり、早速、診療所まで利用しました。災害時にも、柔軟な運行ができるこのふる里タクシーが、いつも頼りになることを祈っています。

機アサ子さん (古賀市)

「家族のお見舞いに利用しています」

機アサ子さん (古賀市)

「お（妻）まで利用し、嫁りに給食のバナーをもらっています」

機アサ子さん (古賀市)

「八女市で生活しているため、ふる里タクシーがなかったら生活ができませんでした。本当に感謝しています。」

機アサ子さん (古賀市)

「お（妻）まで利用し、嫁りに給食のバナーをもらっています」

機アサ子さん (古賀市)

「八女市で生活しているため、ふる里タクシーがなかったら生活ができませんでした。本当に感謝しています。」

H24.6/1 利用者10万人突破！ 総利用者数 112,790人 (10月27日現在)



「ふる里タクシー」利用者の推移

2012年4月：八女市上乗合（一部）で運行開始（1日）

2012年10月：利用者が増えたとの1日乗車者数（1日）

2013年10月：八女市の合併で運行開始（1日）

八女市生活で運行している八女市予約型乗合タクシー「ふる里タクシー」の乗車人数が、今年7月10日現在、112,790人を超えました。

「ふる里タクシー」は、九州北部豪雨の被災地を中心に運行しています。被災地の復興支援や、被災者の生活支援に貢献しています。

「ふる里タクシー」は、九州北部豪雨の被災地を中心に運行しています。被災地の復興支援や、被災者の生活支援に貢献しています。

九州北部豪雨の災害後も、 休まず運行しました。

「大災害で途中の道が寸断された中、迂回しての送迎に感謝しています」

楠 アサ子さん
(古敷岩屋)



黒木

一人暮らしで、黒木町中心部の病院や買い物によく利用しています。娘たちも遠くに嫁ぎ、用事を頻繁に頼めないのが、ふる里タクシーは私の生活の支えになっています。今回の大災害で、途中の国道が通れず困っていた時も、迂回路を2時間かけて送迎していただきました。この山奥では、ふる里タクシーがなかったら生活ができないため、本当に感謝しています。

九州北部豪雨災害後も
「ふる里タクシー」は
休むことなく
運行しました。

「利用者の皆さんの
安否と生活支援が
とても心配でした」



諫山高吉さん
(星野エリア
10号車運転手)

八女の病院への通院に、バス停まで妻といっしょによく利用しています。電話予約は、予約センターの対応が親切なので、いつも私が担当しています。今回の集中豪雨で星野村が孤立状態になったときは、息子の運転で八女の病院まで2～3時間かけて、やっとの思いで行きました。しかし、仕事のある息子にはそう頻繁には頼めないと困っていたところ、ふる里タクシーの運転手さんから「運行している」といううれしい連絡があり、早速、診療所まで利用しました。非常時にも、柔軟な運行ができるこのふる里タクシーが、いつまでも続くことを祈っています。



黒谷典正さん・キリエさん
(板屋)

「夫婦で利用していますが、
安心して暮らせる地域交通
の主役です」

災害後、自宅から孤立状態の星野村へ、うきは市経由で3時間かけてやっとの思いでたどりつきました。目を覆うばかりの大惨事に、まず利用者の皆さんの安否と生活支援のため、四輪駆動車で家を回り、走行ルートの確認など、車庫に泊まりこんで対応しました。この非常事態だからこそ、いつも利用してもらっている利用者の皆さんの行動パターンを大事にしながら、ふる里タクシーにしかできない支援を肝に銘じ、毎日奔走しています。

おばあちゃんたちの笑顔最高



ご清聴ありがとうございます

八女市総務部地域支援課交通対策係

〒834-8585 福岡県八女市本町647

TEL0943-23-1224 FAX23-2583